

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 円山陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 開門時刻は審判 06:30、その他入場 07:00とする
- 3) 競技開始前の主競技場を使用しての練習は、08:20（開会式の10分前）までとする。
ただしゼロ・コントロールテストや審判集合を行うためにホームストレートの使用を制限する場合がある。
- 4) 棒高跳ピット周辺を練習場所として開放する。
また、また、ウォーミングアップ用として時間によってはトラック外側などを開放するが、くれぐれも衝突には注意し、役員の指示には必ず従うこと。
- 5) 北海道神宮・円山公園・円山動物園エリアでの練習を禁止する。
- 6) 禁止区域での場所取り、観戦、撮影等は行わないこと。
- 7) 大会当日の朝のフィールド種目の練習は行わないこととする。

3. 点呼について

- 1) 競技者は指定された時間までに競技者係にて1次点呼（○付け）を行い、その後、各競技開始場所に直接集合すること。1次点呼（○付け）終了時刻・現地集合時刻は以下のとおりとする。

	1次点呼終了時刻	現地集合時間
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

- 2) 競技者係（1次点呼のホワイトボード）は、100mスタート側用器具庫内に設ける。
- 3) 1500m については現地集合を 1500m スタート地点でなく、ゴール地点において行い、荷物はゴール地点に置いたままとする。
- 3) 3000m 以上の競技では、通しナンバーの書かれたアスリートビブスの配布をもって1次点呼とする。
その他の競技は、競技者係にて掲示されたスタートリストへの○付けをもって1次点呼とする。
- 4) 腰ナンバー標識は、1次点呼の際に競技者係から受け取ること。
- 5) 指定された時間までに1次点呼を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- 6) 代理人による点呼は原則として認めない。ただし競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。
- 7) リレー種目は、オーダー用紙（代表者会議で配布・本部受付に用意）に走順・ナンバーを記入し、1次点呼（○付け）終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。リレーメンバーの全員での点呼は行わず、オーダー提出後は競技開始の20分前までに各走者ごとに現地にて集合すること。

4. 棄権について

- 1) 事前に棄権することがわかっている場合は、代表者会議にて申し出ること。
- 2) 大会当日、やむなく棄権する場合は、1次点呼締め切り時刻までに競技者係に申し出ること。

5. アスリートピブスについて

- 1) 代表者会議で配布したピブスを使用する。代表者会議を欠席した大学は当日朝、本部まで取りに来ること。
安全ピンは配布しないので、各校で準備すること。
- 2) 腰ナンバー標識は、競技者係で配布する。
- 3) 腰ナンバー標識は、個人トラック種目出場者については右側につける。
4×100mRについては第4走者のみ右側につける。
4×400mRについては第2・第3走者が左側に、第4走者が右側につける。
- 4) 3000m以上の競技に出場する選手は、1次点呼の際に競技者係にて配布するアスリートピブスを体の前後につける。

6. シューズ、用器具について

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR 5.2 に基づいてシューズを着用すること。
- 2) WA が作成した認証済みシューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org/FullList>) に基づき、使用の可否を判断する。
- 3) スパイクシューズのピンは全天候用のもので、9mm（走高跳・やり投は12mm）以内とする。
- 4) 競技に使用する用器具は、原則として主催者側が用意したものを使わなければならない。
ただし、投擲物は1次点呼終了時刻1時間前までに大会本部で各々検査を受けて許可されたものに限り、個人所有のものを使用することができる。この投擲物は、他の競技者も使用できる。
(日本陸上競技連盟規則 TR 32.2)

7. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による、
- 2) 決勝の組み合わせ・レーン順は、予選の結果より主催者が抽選する。

8. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) リレー競技においては、同一チームの競技者は原則として同一のユニフォームを着用すること。
ただしデザイン・配色が同一であればユニフォームの形態が異なっても問題ない。
- 3) リレー種目では、当該リレー種目で登録していないが他の種目でエントリーしている選手の出場を2人まで認める。

9. フィールド競技について

- 1) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 2) 走高跳を除く共通種目では、3回までの試技の結果によるトップ8が追加で3回の試技を行う。
- 3) 走高跳でのバーの上げ方は下記のとおりとするが、審判員の判断で変更することもあり得る。
男子：(練習 1m35) 1m40 から 1m70 まで 5 cm 刻み、1m70 から 3 cm 刻み
女子：選手役員と相談し、バーの高さを決定する。
- 4) 三段跳の踏切版は砂場から男子 11m、女子 8mの位置に設置する。
- 5) 円滑な競技進行のため、試技を行う際には制限時間を遵守すること。
- 6) 競技者とのコミュニケーションはコーチングエリアから行うこと。

10. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから15分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金20,000円を添えて上訴する。その預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

11. 撮影について

- 1) 大学関係者以外による撮影は禁止する。
- 2) 競技者がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。撮影をしている場所によって不審と判断された場合、競技役員が注意、内容の確認をする場合がある。

12. 表彰について

- 1) 本大会では、個別の種目についての表彰式は行わない。
競技場エントランスにて競技者または代理の者が受け取ること。
- 2) 各共通種目上位6位までの入賞者には賞状を用意する。
- 3) 対校得点は、1位6点、以下順に5、4、3、2、1点とする。
出場者数が6人に満たない競技は1位の得点を出場者数とし、以下順に1点ずつ減らした点とする。
- 4) 上記の得点を大学ごとに集計し、閉会式で男子総合、女子総合、男女総合得点の発表・表彰を行う。

13. その他

- 1) 集団での声出し応援は可とするが、メインスタンドでの集団応援は走幅跳・三段跳の応援を除き禁止する。
- 2) 競技者の衣類の管理は、すべて各自、各校で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
- 3) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 4) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。
ただし、原則加入としたレクリエーション保険が適用される場合がある。
- 5) 大会の記録・映像・写真・記事などは、参加校及び参加校が承認した第三者が、大会運営及び広報等の目的で、大会プログラム等の配布資料、インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 6) 横断幕の設置やのぼりの設置に関して、特に制約は設けないが常識の範囲内で周囲に迷惑のかからぬよう掲出すること。
- 7) 大会期間中に出了ゴミは、配布したごみ袋において確実に分別したもののみ大会側で引き取る。
燃えるゴミ、生ゴミ、ペットボトル・ビン・缶（一緒でよい）の3つに分別すること。
- 8) 不審者・不審物等を発見したら、近くの大会本部まで連絡すること。
- 9) その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。